

笑顔あふれる学校

Smiling School 勝央中



勝央中学校 HP はこちら→ <http://gakuji.town.shoo.lg.jp/shoo-mh/>

勝央中学校だより No. 6

令和6年7月19日(金)

勝央町立勝央中学校長

浦島 毅

TEL: 38-3148

1学期を終えて ~38日間の夏休みを有効に~

○今日で1学期が終わり、明日から38日間の夏休みが始まります。4月の始業式では、「自分を大切に」「仲間を大切に」「いいことや新しいことへの挑戦」という話をしました。修学旅行(3年)・関谷研修(1年)などの大きな行事、校外での学びの場もありました。日常生活が特別な場面でもできてこそ成功、行事で学んだこと経験したことが、学校生活に活かされてこそ本物です。集団としてそして個人としての成長を実感できる3か月半でした。また今年度も、「授業づくり」と「集団づくり」を学校として頑張っています。授業に関しては、みんなでつくっていくもの、キーワードの「学びを委ねる」を、①自己選択・自己決定の場面、②自分の考えを持ち伝え合う場面、③(先生はみなさんが、)自走するための伴走者である。と取り組んでいます。校外のたくさんの方に1学期も授業を観ていただきましたが、落ち着いて、積極的に学びに向かう生徒の姿を、そして楽しそうに授業をする先生方をたくさん褒めていただきました。

○中学校も進路決定や卒業が一区切りでゴールと思われませんが、実際高校へ進学した先輩は、どうしているのだろうと思い、林野高校と勝間田高校の校長先生にお願いをして、授業を観に行かせていただきました。どちらも、卒業生が生き生きと授業を受けていました。中学校での学びが土台となり、タブレットの活用、対話的な学習を行っていました。そして、高校卒業後の進路実現に向けて、大切なことは何か聞いてみました。入試のスタイルも様々ですが、「高校3年間でどんな活動をしたのか」また「それをどう伝えるのか」つまり実績と伝える力が大切だと聞きました。また、困難や課題に立ち向かう力は、個人でもあり、チームでもある。主体的に課題に立ち向かう姿、そしてチームで仲間と意見の合意形成をすることの大切さも教えていただきました。高校生の活動は、勝央中で目標としている授業づくりの延長線上の姿がありました。(先日、3年生の授業で、生徒自身がお互いの学びとして、授業者の役割となって生き生きと授業を進める姿がありました。)目の前のことにどう取り組むのか・・・意識・関心は大切です。

○6月、中四国の校長先生1000人が集まった研究大会が広島であり、講演会では、JAXA宇宙科学研究所教授の津田雄一さんがお話をしてくれました。津田さんは、はやぶさ2のプロジェクトリーダーでもありました。はやぶさ2とは、小惑星探査機で、地球と太陽を挟んで約3億キロ先にある、小惑星「りゅうぐう」を目指しました。りゅうぐうには、3年半でたどり着き、1年半滞在し、1年かけて地球に戻ってきました。はやぶさ2は、人類の起源、太陽系以外の星での人類の可能性など、数々の謎や疑問の解明のため、小惑星「りゅうぐう」の地中のガスを採取しに行きました。長い旅路の中で、たくさんの困難を乗り越え、目標を達成するために、チームで課題に立ち向かいました。ロケットや人工衛星に興味を持っていた当時の津田少年が、今では、はやぶさ2のプロジェクトリーダーとしてミッションを果たすまで成長しました。そんな津田さんに「夢は叶ったのですか」と尋ねると、「小さな興味を育てていたら、夢のようなことができた」と応えたそうです。また、津田さんが話の中で、「色々なことを調べて知れば、その中から疑問が生まれてくる、またそのことを調べると別の疑問が生まれてくる」「はやぶさ2の科学的な魅力は、究極の先端技術+究極の基礎科学、謎と理解の無限の連鎖が面白い。」と言っていたことが印象に残りました。夏休みの生活や宿題の中でも、分からないことや困難なことが目の前に現れることでしょう。そんなとき、これも大きな成長のポイントにしてください。「あー、そうだったのか。」という「分かった・できた」が増え、「次はどうなるんだろう？」というわくわく感がわいてくる夏休みにしてください。

○美作地区総体

6月28日～30日美作地区総体が行われました。3年生にとっては、中学校最後の大会となる大切な大会です。今まで練習してきた力を出し切ろうと、チーム一丸で頑張っている姿が各会場にありました。惜しくも県大会に出場はできなかったチームもありますが、最後まであきらめずにプレーする素晴らしい戦いを見せてくれました。県総体には、美作総体を勝ち抜いた柔道部、剣道部、ソフトテニス部、先に予選が行われた陸上部、水泳・体操もあわせて出場します。勝央中の代表として頑張ってください。応援しています。※体操は、6月29日に竹内琉希さんが出場、水泳は7月13日に田邊碧麗さんが県大会に出場し、持てる力を存分に発揮しました。竹内さんは8月に山口県で行われる中国大会にも出場します。引き続き頑張ってください。

○全国中学校総合文化祭

2年生 白澤七佳さんの作品「架け橋のたもとから」(昨年度制作)が、山口県で開催される全国中学校総合文化祭に出品されることになりました。おめでとうございます。また、部員は、今年度の予選となる、美作地区文化部作品展交流会に出展する作品の制作が始まっています。じっくりと作品と向き合うことができる夏季休業期間も有効に活用し、納得のいく作品を作ってください。(作品の写真は、次ページ右下)



美作地区総合体育大会



部 活		成 績	
剣 道 (養徳館)	個人女子	第2位	植月 千夏
	個人男子	第3位	新井 翔大
		県総体出場	皆木 大和
	団体女子	第3位	
団体男子	県総体出場		
柔 道	個人女子	第2位	山本 知那
	個人男子	第1位	大谷俊太郎
		第2位	森本京太郎
		第1位	根本 拓夢
団体男子	第3位		
野 球		惜 敗	
バレーボール		惜 敗	
バスケットボール		惜 敗	
卓 球	団 体	惜 敗	
	個人女子	惜 敗	
ソフトテニス	団体女子	第3位	
	個人女子	県総体出場	山本 晃沙 山下 優奈 ペア
	団体男子	惜 敗	
	個人男子	惜 敗	
サッカー		第4位	

○保健委員会・文化委員会の活動紹介

生徒会の各委員会で、課題を見つけ解決するための取組を行っています。保健委員会では、ピアサポート活動として、「あなたのキラリ」（自分が言ってもらって嬉しかった言葉）を記入し、「元気の出るひまわり」をつくりました。「分からない問題を教えてくれた。」「係の仕事を手伝ってくれた。」「困ったら助けてくれる。」などがありました。普段の何気ない行動や言動がエネルギーとなります。また、文化委員会では、おすすめの課題図書として、文化委員が、分担して課題図書を読み、感想を簡単にまとめ掲示しています。登校した生徒が、ボードの前に足を止め興味深そうに観ていました。

○非行防止教室

9日、11日、美作警察署より講師をお招きして、学年ごとに非行防止教室を行いました。夏休みを前に、「インターネットモラル」として、SNSのトラブルなど、実際の事例をもとにお話をいただきました。インターネットの使い方によっては、被害者になることもあれば、加害者になる可能性もあります。のりや勢いでやってしまったことが一生後悔することもあります。「今こそ、見直そう！わが家のスマホ・ネットルール」のリーフレットを配付しています。「使用時間」「使用料金」「フィルタリングの設定」など、ご家庭でも話をしてみてください。

○着衣水泳

体育のプールの授業で、着衣水泳を行いました。普段水着を着て泳ぐのと違い、着衣では思うように泳ぐことができず、戸惑っていました。また、溺れている人を助ける方法など学ぶ場となりました。夏休み中は家族等でプールや海に行く人もいるかも知れません。自分の泳ぎに過信することなく、水難事故に遭わないよう過ごしてください。

○PTA保体部親睦会

5日、PTA保体部親睦会を行いました。今年度は、部会で相談し、親睦を図る取組を行いました。全体で日常の子どもたちの様子をスライドで鑑賞し、学年ごとにいくつかのテーブルで、すごろくトークなどを行いました。和気あいあいとした時間となりました。

